

多摩区こども・子育て実態調査 調査結果概要



多摩区役所地域みまもり支援センター
地域ケア推進担当

調査概要

1 調査の目的

地域での子育て支援を推進するために子育て世帯のニーズを把握する。また、平成24年度と経年比較をし、新たに、地域包括ケアシステム推進の視点や、子育てニーズに特徴があるとされている「ひとり親家庭」にも着目し実施。

2 調査対象

多摩区在住の0歳から5歳児を持つ子育て世帯から無作為抽出
(ひとり親世帯は児童扶養手当受給世帯)

3 調査期間 平成29年7月14日～7月31日(8月10日)

4 回収状況

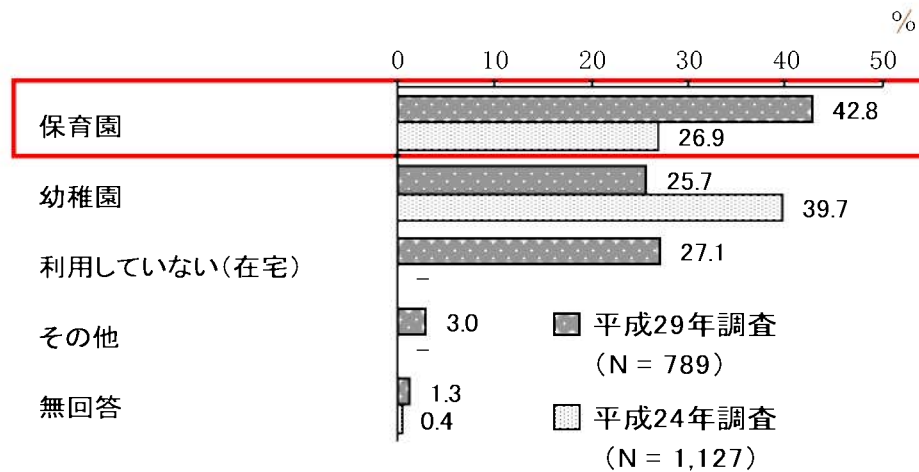
配布数 1,370通 回収 789通(有効回収率57.6%)

※「一般世帯」と「ひとり親世帯」を合算し集計しています。

「ひとり親世帯」単独の分析結果については、回収率等から統計処理するには十分な回答が得られていません。(有効回収率約30%)

回答者の特徴

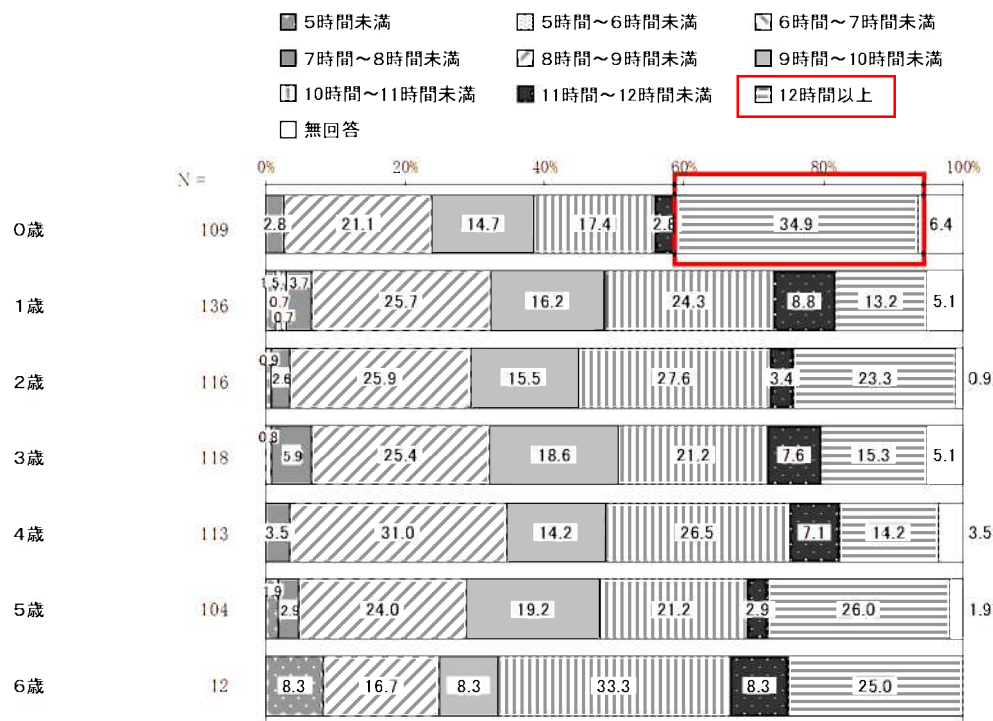
保育園・幼稚園を利用しているか？



◎ 保育園の利用者 42.8% ← H 2 4 年度26.9%

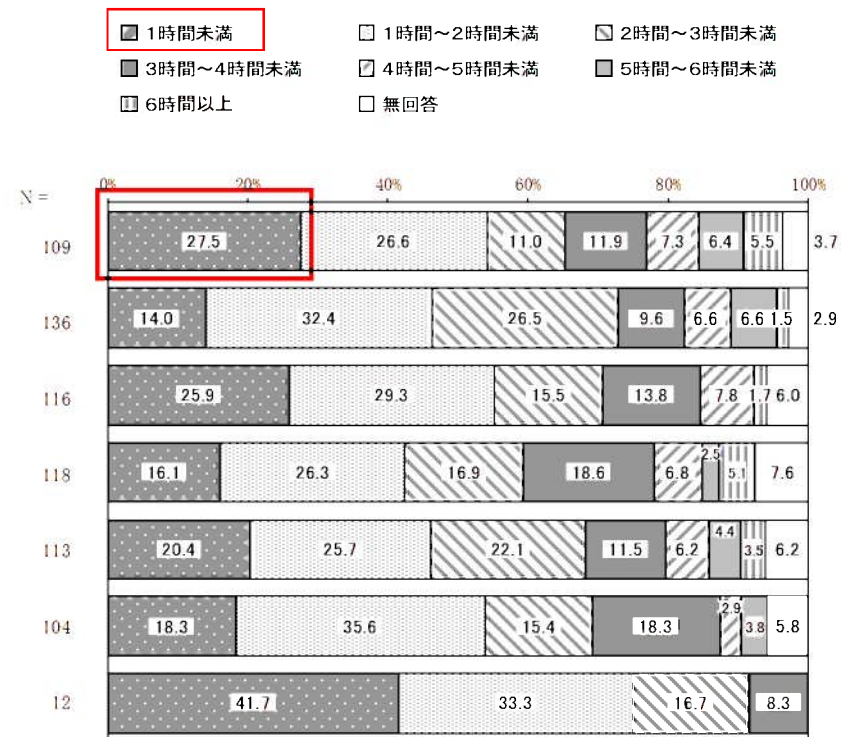
◎ 共働き世帯 48.0% ← H 2 4 年度36.8%

父親の勤務時間と子供と接する時間



父親の勤務時間

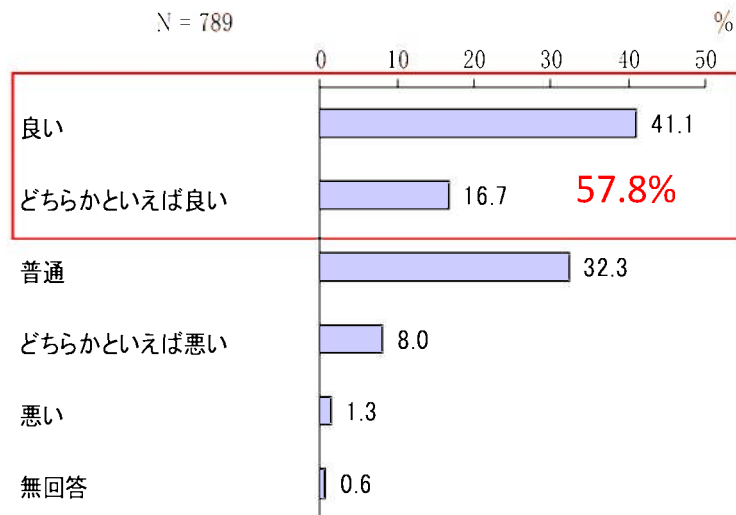
○全体では「8～9時間」が多い



子どもと接する時間

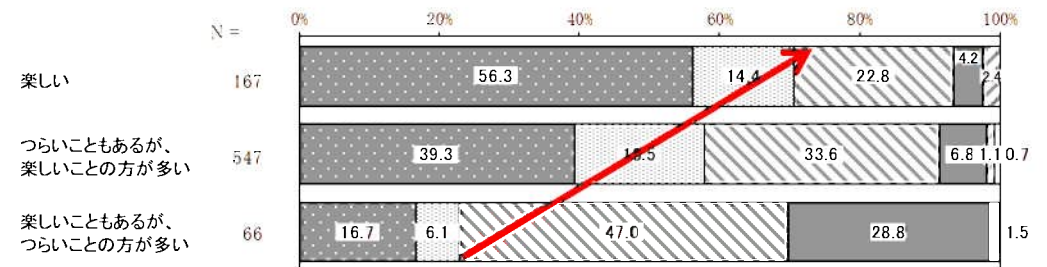
○全体では「2～3時間」が多い

回答者の健康状態

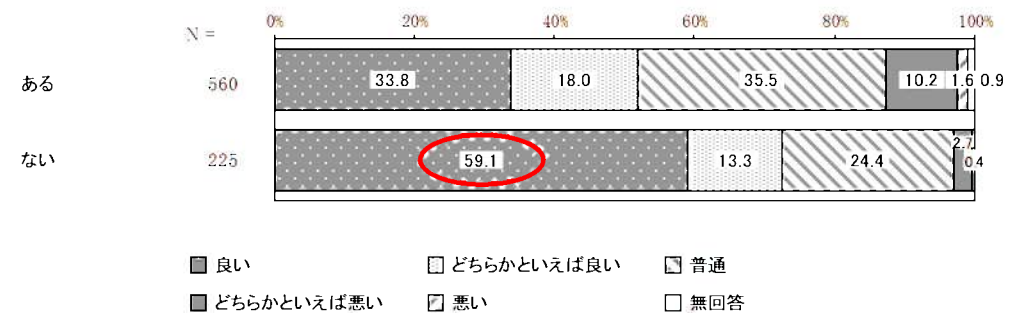


回答者の健康状態については、
“良い”と“どちらかといえば良い”を合わせた
“健康状態が良い”の割合が57.8%。

【育児の楽しさ別】



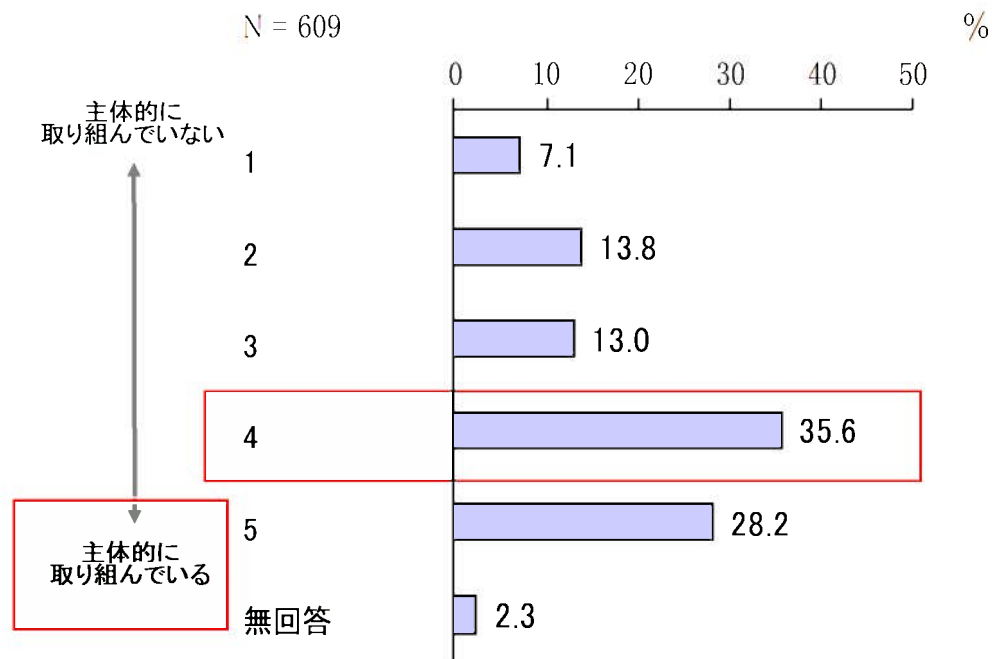
【子育て不安・心配の有無別】



- 育児を楽しんでいる人ほど“健康状態が良い”の割合が高い。
- 子育ての不安、心配がない人は、ある人に比べ「良い」の割合が高い。

父親等の育児参加の状況 (ひとり親家庭除く)

問 2 1 父親の育児への取り組み具合。



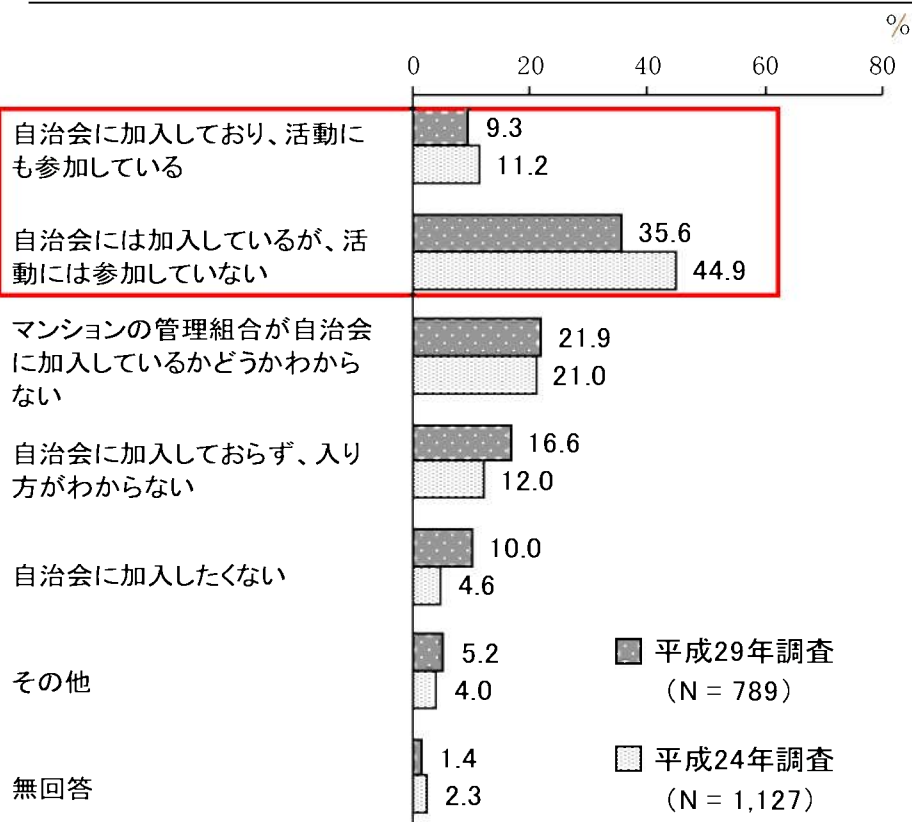
◎ どちらかという主体に取り組んでいる「4」割合 35.6%

◎ 保育園利用者、共働き世帯は、主体的に取り組んでいる「5」の割合が多い

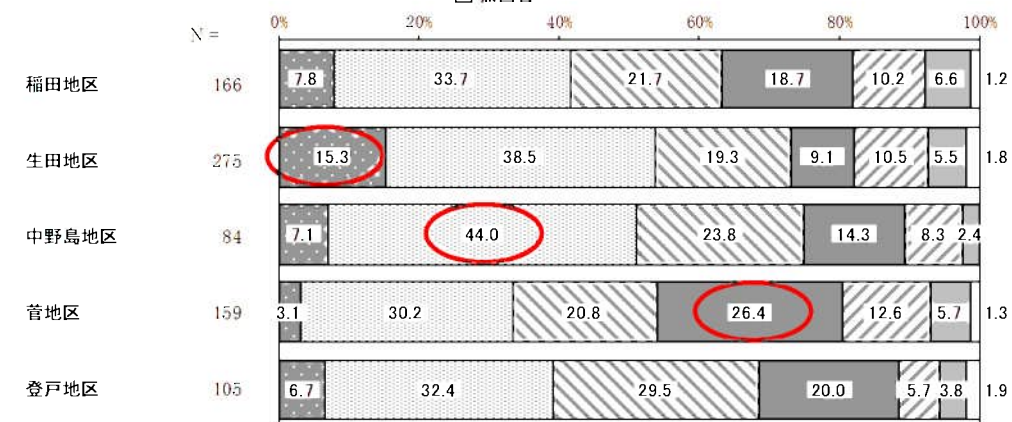
・ 回答者は「母親」が約94%

地域とのつながりについて

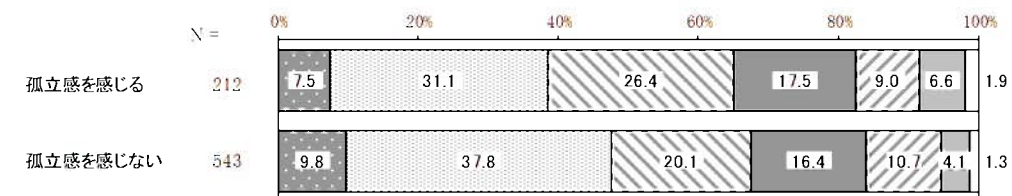
問 1 6 地域の自治会活動への参加状況。



【居住地区別】

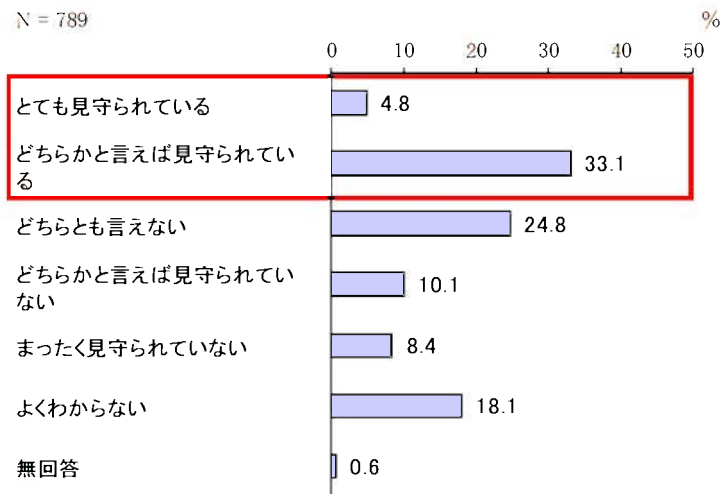


【孤立感別】



地域とのつながりについて

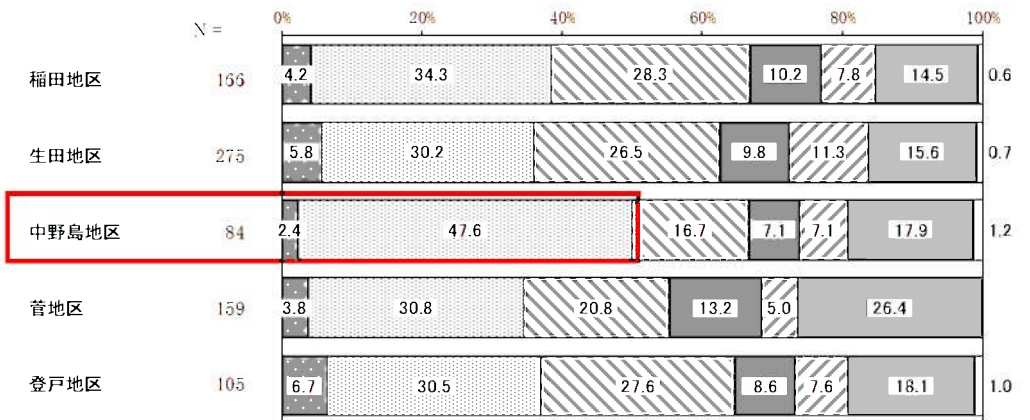
問20 あなたは地域の人から見守られていると感じますか。



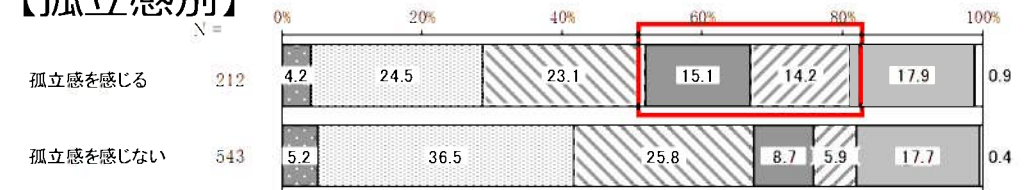
◎“見守られている”の割合が37.9%

◎居住地区別でみると中野島地区は“見守られている”最も高く50.0%。

【居住地区別】



【孤立感別】



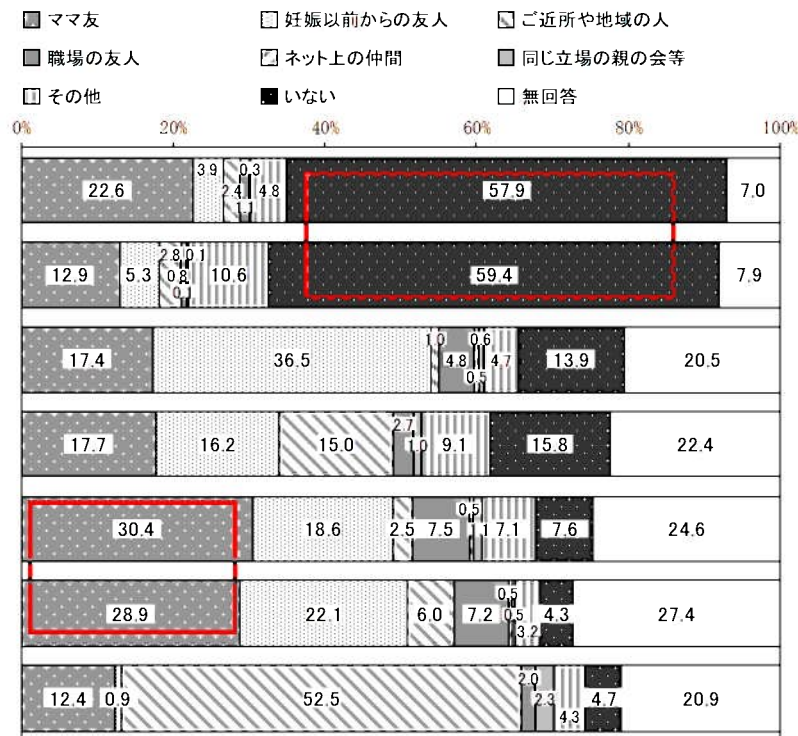
- とても見守られている
- ▨ どちらかと言えば見守られている
- どちらとも言えない
- どちらかと言えば見守られていない
- ▨ まったく見守られていない
- よくわからない
- 無回答

子育て世帯の現状(子育て仲間)

問1 家族親類以外で、あなたの周りに①～⑦のようなお付き合いができるか。

N = 789

- ①子どもをお互いに預け合える
- ②家事・育児のサポートができる
- ③本音で話し合える
- ④子どもの成長を見守ってくれる
- ⑤子育ての相談ができる
- ⑥気軽なおしゃべりができる
- ⑦あいさつする程度



◎「ママ友」

⑤子育ての相談ができる

⑥気軽なおしゃべりができる

◎「妊娠以前の友人」

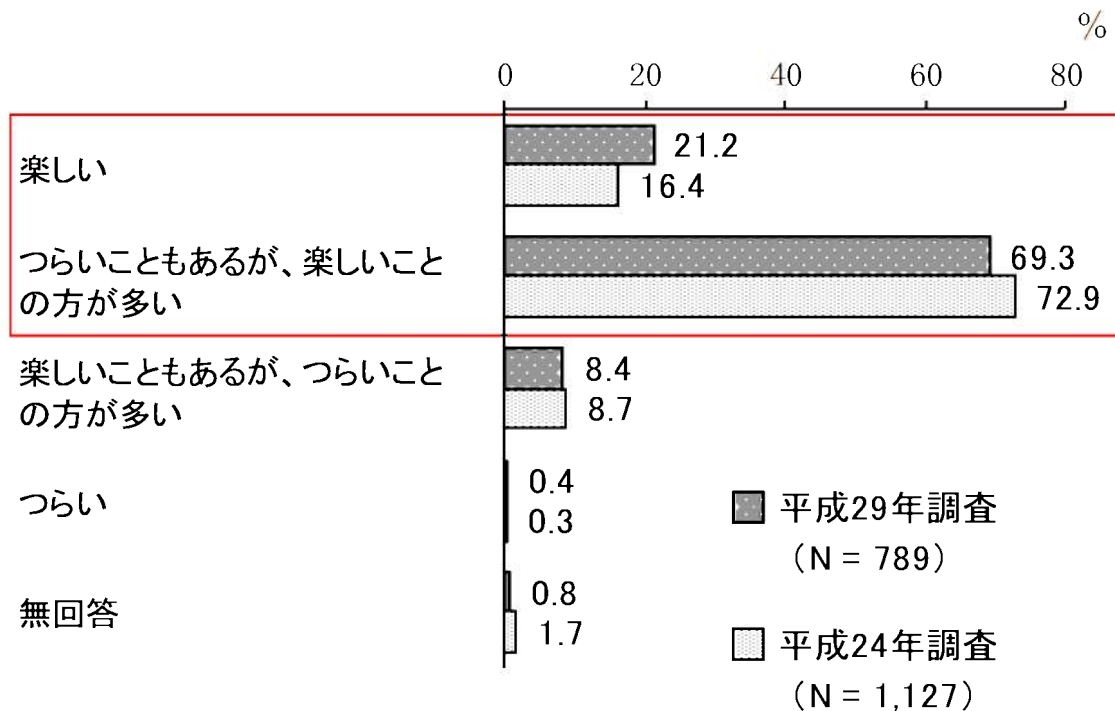
③本音で話し合える

◎「地域」 ⑦あいさつ程度

- ・ 子どもの年齢が上がるにつれ「子どもをお互いに預け合える」割合が高くなる。
- ・ 妊娠期以降に知り合った友人は、「保育園・幼稚園」の割合60.3%。

子育て世帯の現状(育児の楽しさ)

問3 あなたは、子育てを楽しいと感じますか。



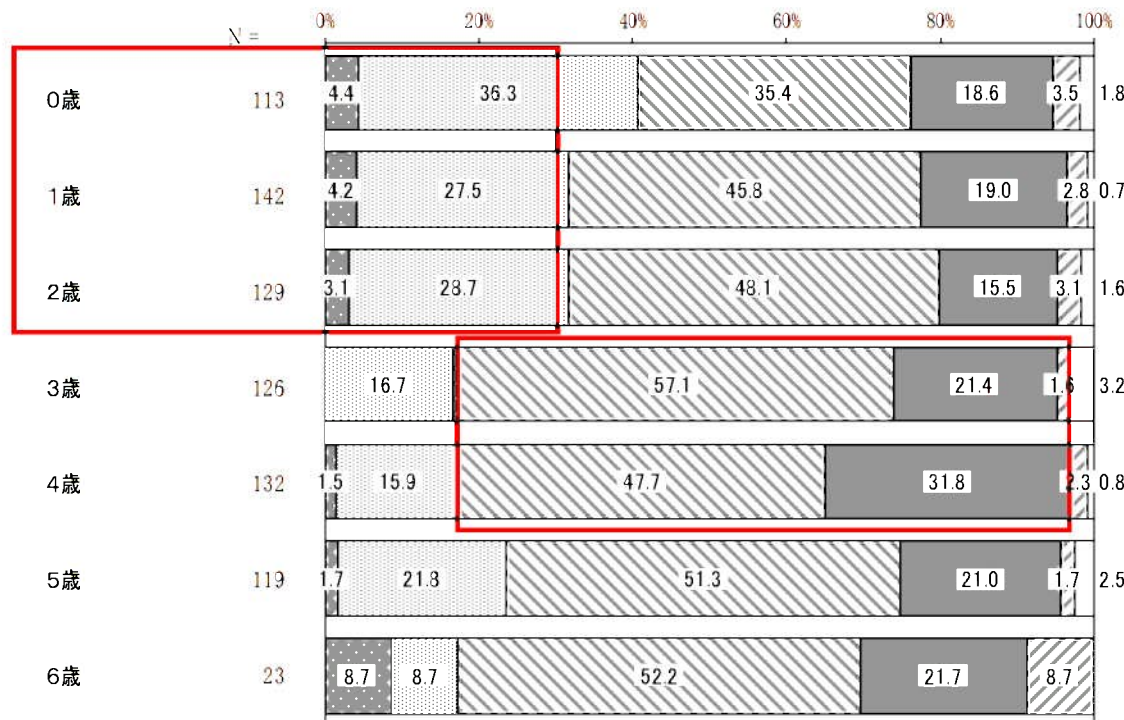
◎ 「楽しい」と「楽しいことが多い」を合わせた割合90.5%

- ・ 父親の育児参加が主体的なほど、「楽しい」の割合が高くなる。
- ・ 親族からの日常的なサポートがある場合は、「楽しい」割合高い。

子育て世帯の現状（孤独感）

問4 あなたは日常生活において孤立していると感じていますか。

【子どもの年齢別】



■ 強く感じる ■ やや感じる ■ あまり感じない
■ 全く感じない ■ わからない ■ 無回答

- ◎ 全体傾向
孤独感を感じる割合 26.9%
孤独感を感じない割合68.8%
- ◎ 0～2歳で“孤独感を感じる”
割合が高い
- ◎ 3、4歳で“孤独感を感じない”
割合が高い

子育て世帯の現状（孤独感）

問4 あなたは日常生活において孤立していると感じていますか。

【父親の子育て参加度別】



■ 強く感じる □ やや感じる ▨ あまり感じない
■ 全く感じない ▨ わからない □ 無回答

◎ 父親の子育て参加度が低くなるにつれ“孤立を感じる”の割合高い

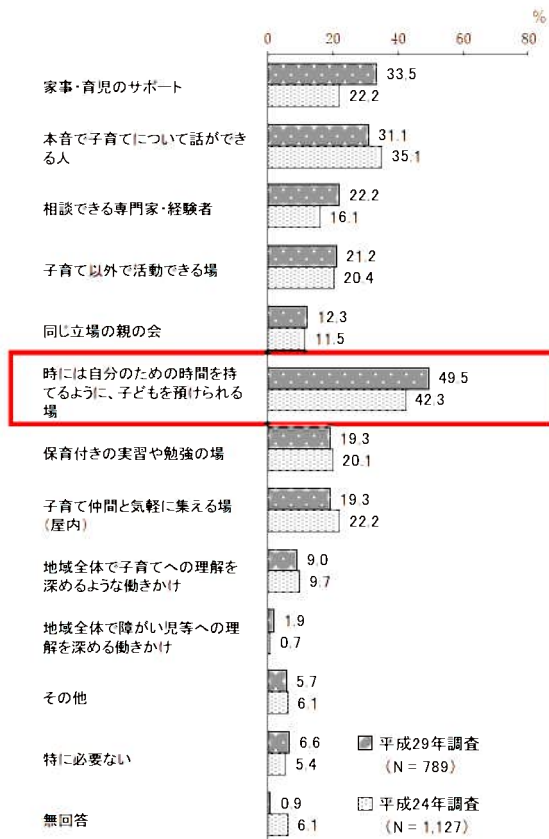
【虐待していると感じる状況別】



◎ 虐待していると思うことがある人で“孤立を感じる”の割合が高い

子育て世帯の現状(孤独感)

問4-1 孤独感を和らげるために地域で必要なこと。



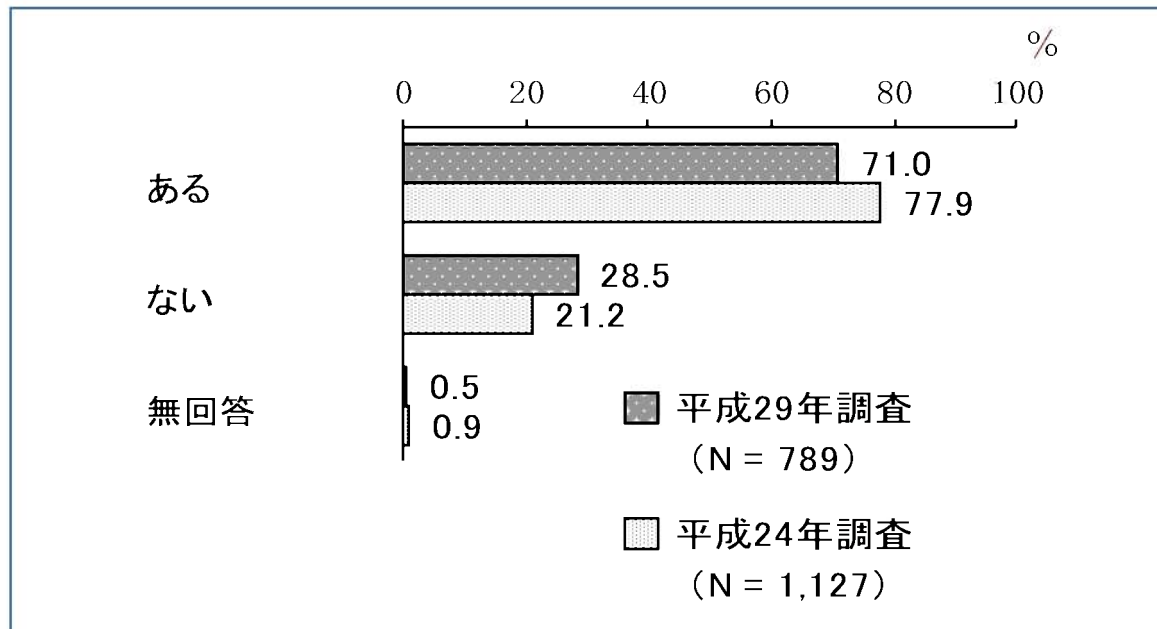
◎「時には自分のための時間を持てるように、子どもを預けられる場」の割合 49.5%

◎「家事・育児のサポート」の割合 33.5%、「本音で子育てについて話ができる人」31.1%

平成24年調査と比較すると、「家事・育児のサポート」「相談できる専門家・経験者」「時には自分のための時間を持てるように、子どもを預けられる場」が増加しています。

子育て世帯の現状(不安感)

問8 あなたは、子育てについて心配なこと、不安なことはありますか。

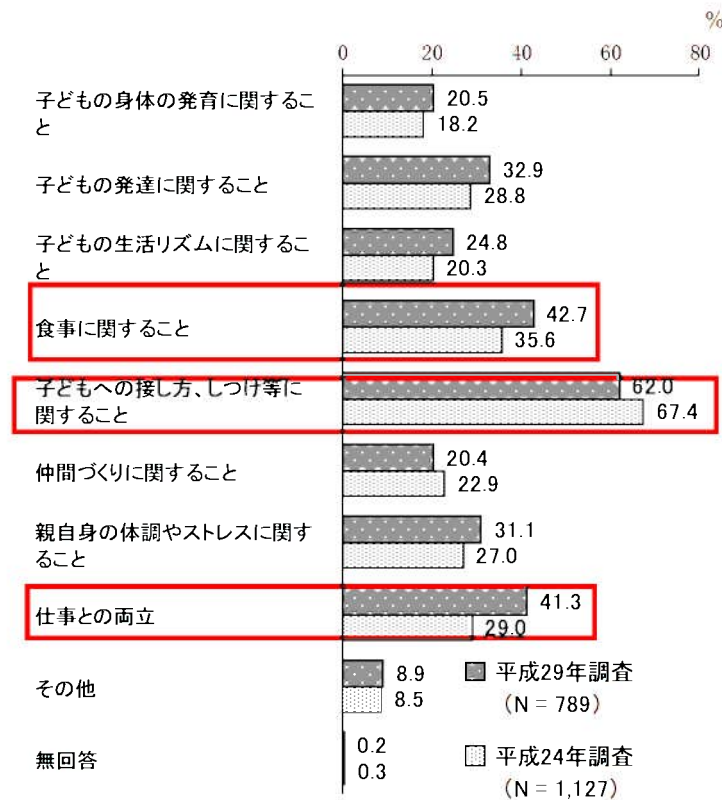


◎ 「ある」の割合が71%

◎ 祖父母等の同居状況 や
育児の楽しさ にも影響

子育て世帯の現状(不安感)

問8-1 心配なこと、不安なことの内容。



- ・「子どもへの接し方、しつけ等に関すること」・・・62.0%
- ・「食事に関すること」・・・42.7%
- ・「仕事との両立」・・・41.3%

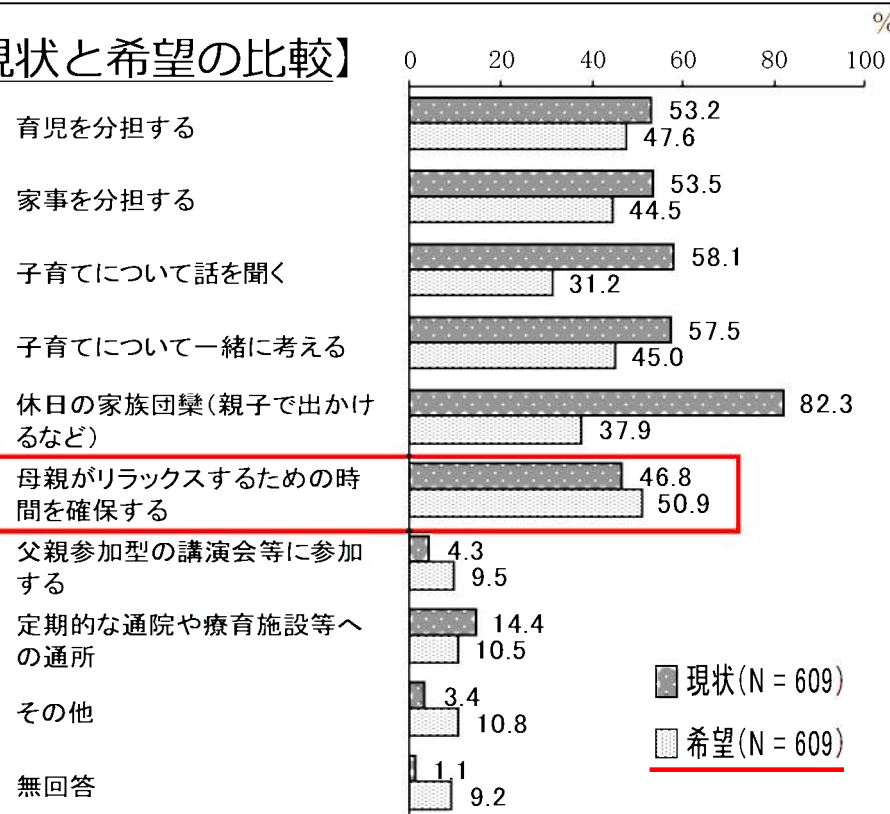
平成24年調査と比較すると、
「食事に関すること」「仕事との両立」が増加

◎相談先は「パートナー」「親族」が高い
「友人」、「保育園・幼稚園の先生」、
「区役所」が増加傾向

子育て世帯のニーズ(父親への期待)

問23 父親に今後望む育児参加の取組。

【現状と希望の比較】



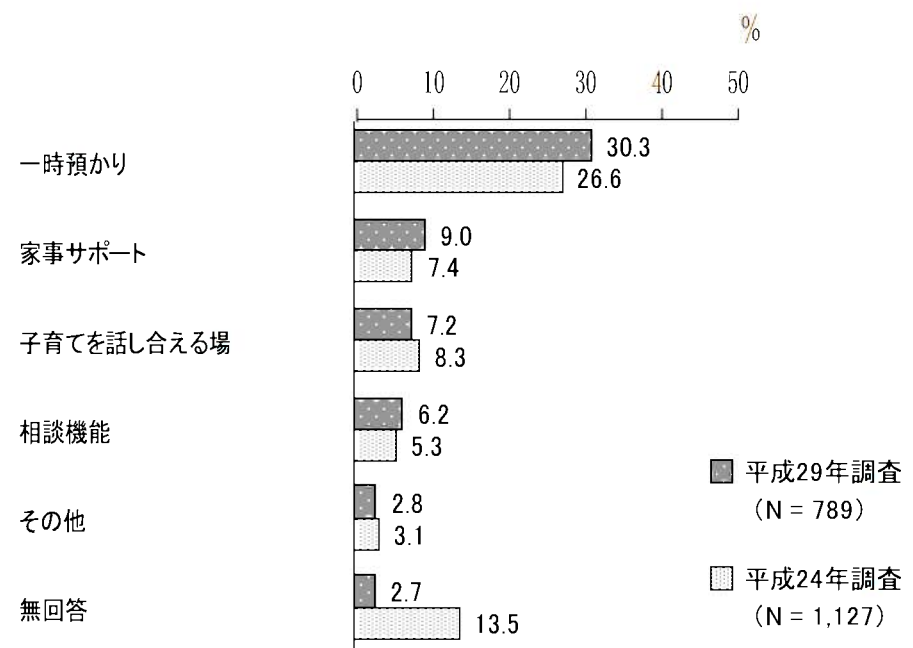
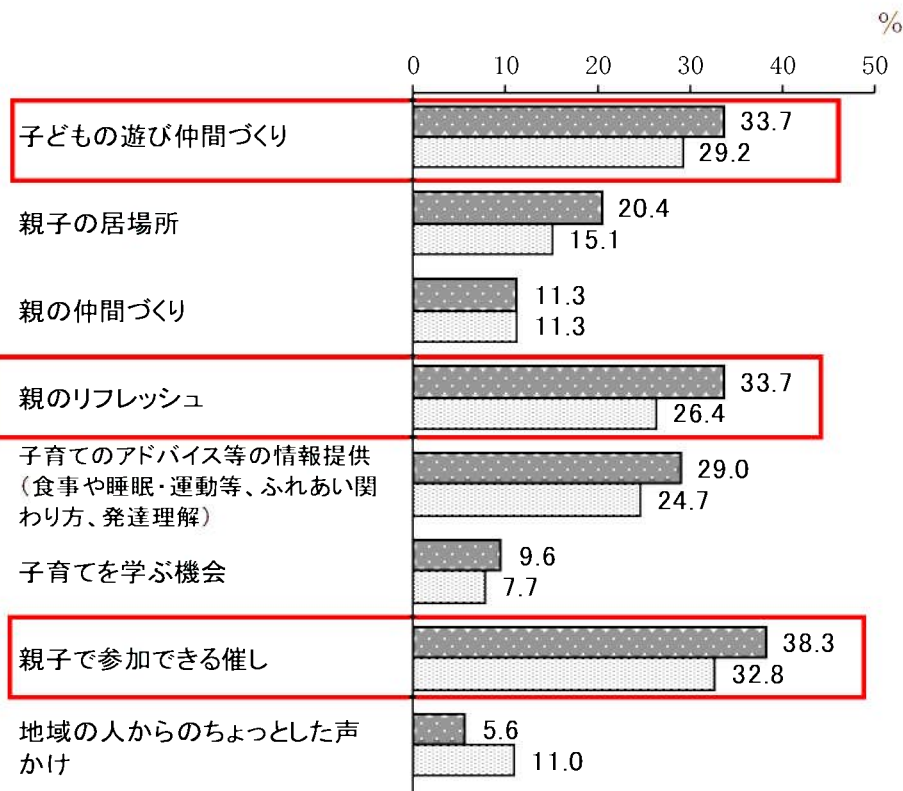
◎「母親がリラックスするための時間を確保する」の期待が高い

◎就労状況別では、「共働き世帯」で「家事」「育児」の分担を希望

◎「孤立を感じる」では、「子育てと一緒に考える」、「父親参加の講演会」のニーズが特徴的

子育て世帯のニーズ（地域への期待）

問 1 3 多様な主体が行う地域子育て支援に望むこと。



◎ H24年調査と比べ
「親のリフレッシュ」の割合が増加。

子育て世帯のニーズ（地域への期待）

問 1 3 多様な主体が行う地域子育て支援に望むこと。

【利用施設別】

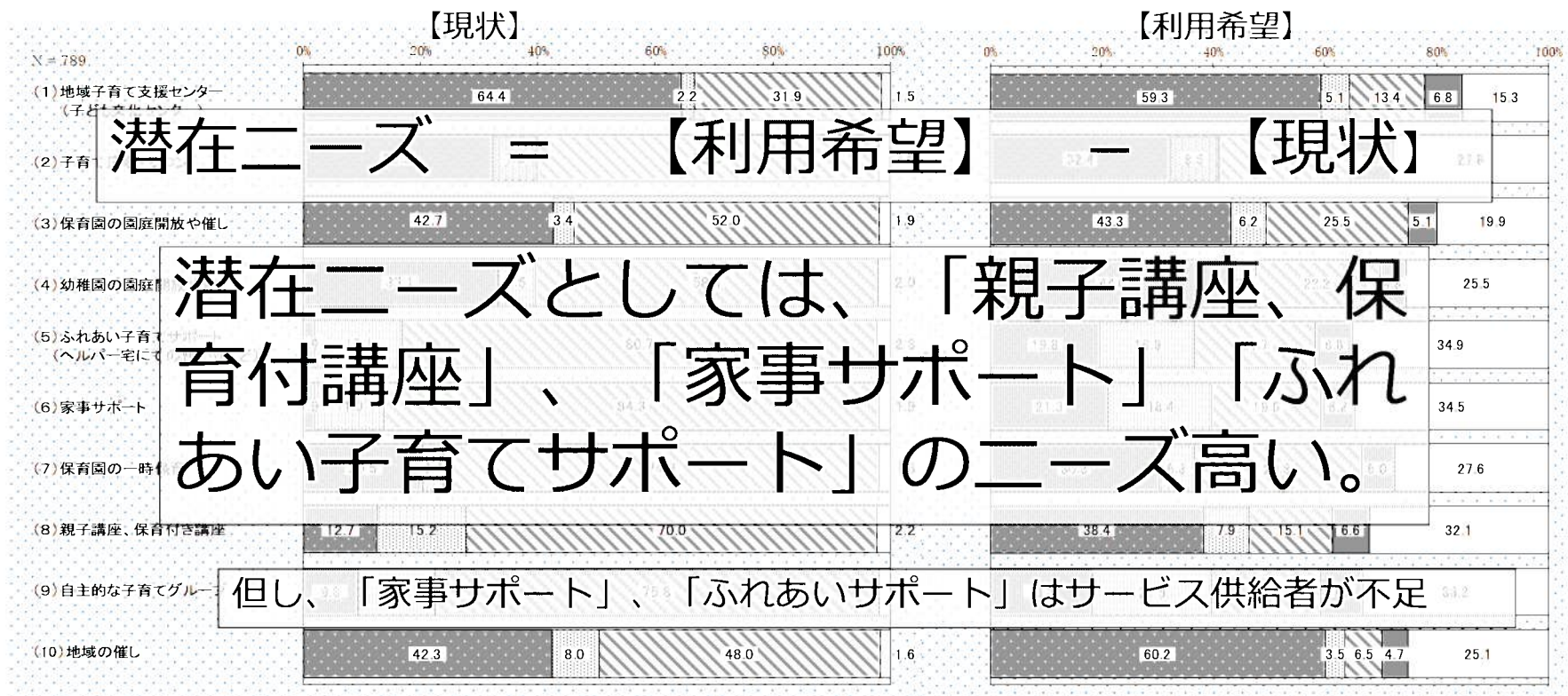
- ・「幼稚園」では「親子で参加できる催し」、
「在宅」では「子どもの遊び仲間づくり」が他に比べ高い。
- ・「保育園」では「家事サポート」が高く、「一時預かり」が低い。

【父親の子育て参加度別】

- ・父親の育児参加度が高いほど「親子で参加できる催し」の割合が高い。
- ・「主体的に取り組んでいない」で「家事サポート」や「親のリフレッシュ」の割合が高い。

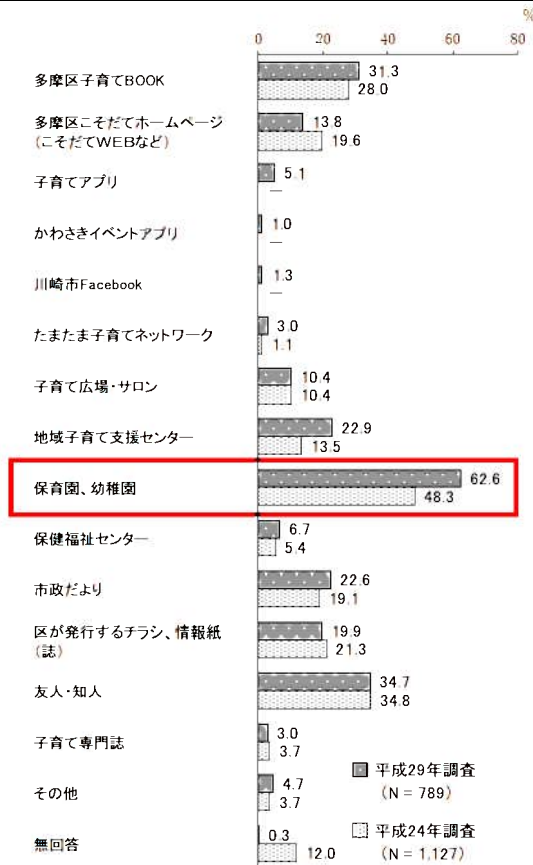
子育て世帯のニーズ(事業への期待)

問 1 4 地域子育て支援事業の利用状況とニーズ。



子育て世帯のニーズ(子育て情報)

問 1 1 - 1 情報を得る方法。



「情報を得られている」 約 4 割
「分からない」 約 4 割
「得られていない」 約 2 割

【子どもの年齢別】

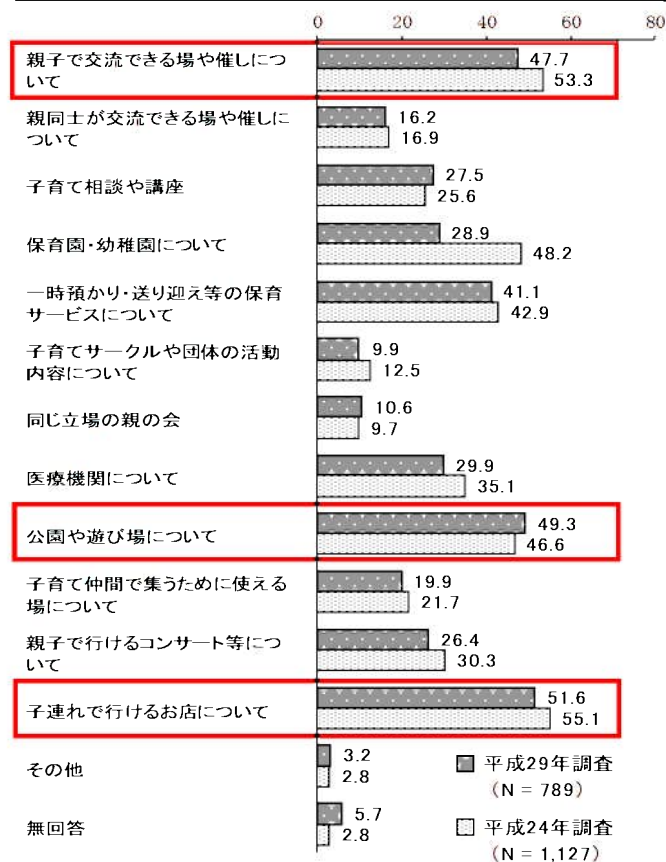
- ◎ 0歳で「子育て情報BOOK」が、1歳で「地域子育て支援センター」の割合が高い。
- ◎ 1歳以上は「保育園、幼稚園」の割合が高い。

【利用施設別】

- ◎ 在宅では、「子育て情報BOOK」、「子育て広場・サロン」の割合が高い。

子育て世帯のニーズ(子育て情報)

問 1 2 知りたい地域の子育て情報は。



「子連れで行けるお店について」(51.6%) 「公園や遊び場について」(49.3%)
「親子で交流できる場や催しについて」(47.7%)



親子で行く「場」を望んでいる

◎ 0歳児を持つ世帯では、多くの種類の情報を望む傾向がみられる。

地域包括ケアシステムの推進に向けて

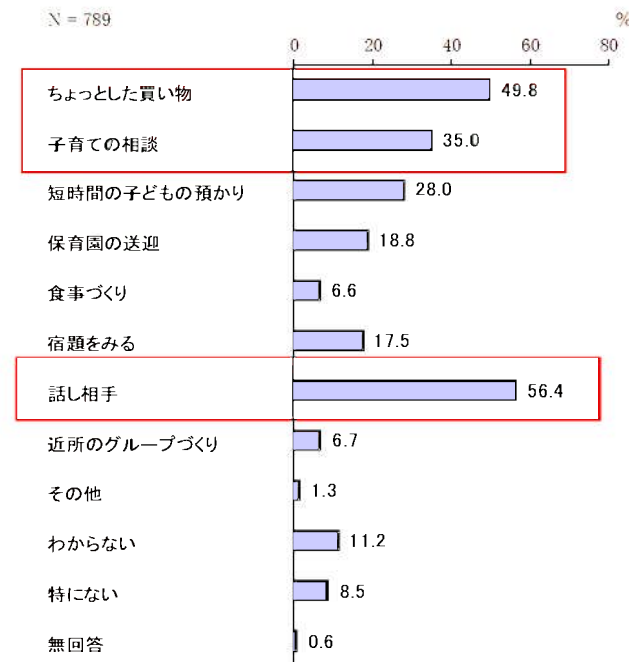
問 1 9 地域の人にちょっと頼まれた場合に、
私にもできると思うことはありますか。

◎「話し相手」の割合 56.4% (最も高い)

◎「ちょっとした買い物」の割合 49.8%

◎「子育ての相談」の割合 35.0%

一方で「わからない」は11.2%、「特にない」は8.5%
となっています。



多摩区こども・子育て実態調査 調査結果の概要

調査の概要

1 調査の目的

地域での子育て支援を推進するために子育て世帯のニーズを把握する。また、平成24年度と経年比較をし、新たに、地域包括ケアシステム推進の視点や、子育てニーズに特徴があるとされている「ひとり親家庭」にも着目し実施。

2 調査対象

多摩区在住の0歳から6歳児（回答時）を持つ子育て世帯から無作為抽出（ひとり親世帯は児童扶養手当受給世帯）

3 回収状況

0歳児から5歳児の保護者 配布1,370通 回収789通 有効回収率57.6%

※「一般世帯」と「ひとり親世帯」を合算し集計しています。

「ひとり親世帯」単独の分析結果については、回収率等から統計処理するには十分な回答が得られていません。

回答者属性

・「保育園」の割合が42.8%と最も高く、次いで「利用していない（在宅）」の割合が27.1%、「幼稚園」の割合が25.7%。前回調査と比較すると、「保育園」の割合が増加し、「幼稚園」の割合が減少。

・就労状況は、「夫婦ともに働いている」の割合が48.0%と最も高く、前回調査と比較すると、「夫婦ともに働いている」が増加し、「夫婦どちらか一方が働いている」が減少。

・父親の子どもと接する時間は、「1時間～2時間未満」の割合が29.4%と最も高く、次いで「1時間未満」の割合が20.5%となっており、就労状況別でみると、夫婦どちらか一方が働いているで「1時間未満」の割合が高い。

・父親の勤務時間は、「8時間～9時間未満」の割合が25.3%と最も高いものの、子どもの年齢別でみると、0歳で「12時間以上」の割合が高くなっている。

保護者の健康・生活に関する状況について

・あなたの健康状態については、「健康状態が良い」の割合が57.8%。育児を楽しんでいる人ほど「健康状態が良い」の割合が高い。子育ての不安、心配がない人は、ある人に比べ「良い」の割合が高い。

父親等の育児参加の状況について（一人親を除く）

・父親の育児参加については、「4」の割合が35.6%と最も高く、次いで「5」の割合が28.2%、「2」の割合が13.8%となっている。（「5」が取り組んでいる。「1」は取り組んでいない。）

地域とのつながりについて

・私にもできると思うことはあるかは、「話し相手」の割合が56.4%と最も高く、次いで「ちょっとした買い物」の割合が49.8%、「子育ての相談」の割合が35.0%。

・地域の人から見守られていると感じるかは、「見守られている」の割合が37.9%。居住地区別でみると「見守られている」の割合は中野島地区で最も高く50.0%。

子育て世帯の現状の明確化

1 子育て仲間について

・家族親類以外で、付き合いの状況は、「ママ友」は⑤子育ての相談ができる、⑥気軽なおしゃべりができるで割合が高くなっている。また、「妊娠以前からの友人」は③本音で話し合えるで割合が高い。

子どもの年齢が上がるにつれ「子どもをお互いに預け合える」の割合が高い。幼稚園で「子どもをお互いに預け合える」「家事・育児のサポートができる」の割合が高い。

・妊娠期以降に知り合った友人の知り合った場所や機会は、「保育園・幼稚園」の割合が60.3%と最も高く、次いで「子育て広場・サロン」の割合が23.4%。

2 毎日の子育てについて

・子育てを楽しんでいるかについては、「つらいこともあるが、楽しいことの方が多い」の割合が69.3%と最も高い。また、父親の子育て参加度が高くなるにつれ「楽しい」の割合が高い。

・“孤立感を感じる”の割合が26.9%、“感じない”の割合が68.8%。前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

0～2歳で“孤立感を感じる”の割合が高い。父親の子育て参加度が低くなるにつれ“孤立感を感じる”の割合が高い。虐待していると思うことはない人に比べ、虐待していると思うことがある人で“孤立感を感じる”の割合が高い。

・孤立感を和らげるために必要なことは、「時には自分のための時間を持てるように、子どもを預けられる場」の割合が49.5%と最も高く、前回調査と比較すると、「家事・育児のサポート」「相談できる専門家・経験者」「時には自分のための時間を持てるように、子どもを預けられる場」が増加。

・子どもを虐待をしていると思うことかについては、「虐待していると思うことがある」の割合が14.9%。前回調査と比較すると、「ない」が増加。

3 子育てに関する相談について

・子育てについて心配なこと、不安なことがあるかは、「ある」の割合が71.0%、「ない」の割合が28.5%。前回調査と比較すると、「ない」が増加。祖父母等親族と同居、育児が楽しいと感じている人ほど「ない」の割合が高い。

・心配なこと、不安なことの内容については、「子どもへの接し方、しつけ等に関すること」の割合が62.0%と最も高い。前回調査と比較すると、「食事に関すること」「仕事との両立」が増加し、「子どもへの接し方、しつけ等に関すること」が減少。

・相談相手は、パートナー、親類の割合は高いが、減少。「園の先生」の増。

・相談による不安や悩みの軽減は、「軽くなった」の割合が25.9%、「あまり効果はなかった」の割合が13.9%。

孤立感を感じない人は孤立感を感じる人に比べ「軽くなった」の割合が高い。

・子育てに関する相談で充実してほしいことは、「安心して相談できる環境（子どもの預かり、プライバシーの配慮等）」の割合が42.1%と最も高く、次いで「身近な場での窓口」の割合が40.8%。前回調査と比較すると、「安心して相談できる環境（子どもの預かり、プライバシーの配慮等）」が減少。

・相談先の認知度は、「区役所（保健福祉センター）」の割合が85.0%と最も高く、前回調査と比較すると、「保育園・幼稚園」が増加。

子育て世帯のニーズの把握

父親等の育児参加のニーズ（一人親を除く）

・父親の育児参加として今後どのようなことをしてほしいかは、「母親がリラックスするための時間を確保する」の割合が50.9%と最も高く、次いで「育児を分担する」の割合が47.6%、「子育てについて一緒に考える」の割合が45.0%、「家事を分担する」が44.5%。就労状況別でみると、夫婦ともに働いているで「育児を分担する」「家事を分担する」「定期的な通院や療育施設等への通所」の割合が高い。

孤立感別でみると、孤立感を感じない人に比べ、孤立感を感じる人で「子育てについて一緒に考える」「父親参加型の講演会に参加する」の割合が高い。

地域子育て支援に関するニーズ

・多摩区の子育て関連機関や地域団体・民生委員、NPO等における地域の子育て支援に望むものについては、「親子で参加できる催し」の割合が38.3%と最も高い。次いで「親のリフレッシュ」と「子どもの遊び仲間づくり」が33.7%。前回調査と比較すると、「親のリフレッシュ」が増加。父親の子育て参加度別でみると、父親の子育て参加度が高くなるにつれ「親子で参加できる催し」の割合が高い。

・「今後利用したい」から「現状利用したことがある」を除いた潜在ニーズは、「親子講座、保育付き講座」が最も高く、次いで、「家事サポート」、ふれあい子育てサポート（ヘルパー宅にての預かりなど）、「地域の催し」。

相談・情報に対するニーズ

・地域の子育てに関する情報は、「情報は得られている」の割合が37.7%。利用施設別でみると、幼稚園で“情報は得られている”の割合が高い。

・どのような方法で情報を得ているかは、「保育園、幼稚園」の割合が62.6%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が34.7%、「多摩区子育てBOOK」の割合が31.3%。「多摩区子育てBOOK」は特に0歳で活用されている。前回調査と比較すると、「地域子育て支援センター」「保育園、幼稚園」が増加。

・子育てに関しての情報は、「子連れで行けるお店について」の割合が51.6%と最も高く、次いで「公園や遊び場について」の割合が49.3%、「親子で交流できる場や催しについて」の割合が47.7%。